

令和 6 年度第 1 回 松江市健康まつえ 21 基本計画推進委員会 議事要旨

1. 日時

令和 6 年 7 月 11 日（木） 17 時 00 分～18 時 30 分

2. 場所

松江市保健福祉総合センター3 階大会議室

3. 出席者

(1) 委員（10 名/12 名中）

松本和也委員、吉川浩郎委員、藤井浩太郎委員、安達伸次委員、勝部廣三委員、高麗優子委員、福島喜美子委員、藤原みえ子委員、名越究委員、古志野純子委員
＜欠席：若林三成委員、名和田清子委員＞

(2) 事務局

松岡健康福祉部次長、
健康推進課：岸本課長、堀江保健専門官、山根係長、伊藤係長、飯野管理栄養士長、朝倉橋北グループリーダー、坂根橋南グループリーダー

4. 次第

(1) 開会

(2) 健康福祉部次長あいさつ

(3) 委員長あいさつ

(4) 議事

① 健康まつえ 21 基本計画に基づく令和 6 年度保健事業等実施計画について

(5) その他

① 今後のスケジュールについて

(6) 閉会

5. 会議経過

別紙のとおり

(1) 開会

(2) 健康福祉部次長あいさつ

- ・ 計画策定へのお礼
- ・ 本日の議事の説明

(3) 委員長あいさつ

○委員長あいさつ

○委員会の成立確認

- ・ 出席委員数：10 名（委員数 12 名）
- ・ 半数以上の出席があり、松江市健康まつえ 21 基本計画推進委員会設置要綱の規定に基づき委員会が成立していることを報告

○情報公開

- ・ 松江市情報公開条例及びそれに基づく審議会等の公開に関する要綱の規定によって公開を行うことを報告

（以後、松江市健康まつえ 21 基本計画推進委員会設置要綱の規定により名越委員長が議事を進行）

(4) 議事

【議事① 健康まつえ 21 基本計画に基づく令和 6 年度保健事業等実施計画について】

- ・ 資料 1 に沿って説明

（委員からの意見・質問等）

- ・ この計画をどうやって市民の皆様に届けるかということが大切。特に関心の低い方に対してどうやって届けるか、どううまく情報を伝達し、行動変容を促すか、委員会で色々な立場からのアドバイスがあるとよい。
- ・ 自治会連合会の会合には出て説明をされたのか。月 1 回自治会連合会や民生委員の会もやっているの、そこで計画の説明をするとよいと思う。

→＜事務局＞

- ・ まだ行っていない。呼んでいただければ出かけていくし、こちらからも声掛けをしていきたいと思う。
- ・ 検査や、看護師などからの個人指導を受けると、関心も持っていただく方も増えるので、身近なところから広げていくとよいと思う。
- ・ 高校生の授業に参加するのはとても良いこと。高校生の段階から関心を持っていれば、大きくなっても、ずっと関心を持っていけるのではないかなと思う。また、地域の活性化は体が丈夫でなければできないので、そのためにどうするかということを、高校生に真剣に考

えてもらってもよいのではないかと思います。

- ・親子ラジオ体操など、地域の皆さんに色々な活動に出てもらおうよう、推進隊の活動を継続したい。
- ・あまり外に出ない方に対しどういったフォローをしていくのか、委員の皆さんで色々意見を出しながら、詰めていかないといけないと思う。
- ・PTAの集まりに参加し、具体的な取組内容を、各学校でどうですかと提案すれば、PTAとしても協力しやすくなると思う。

→＜事務局＞

- ・現在取り組みが始まったばかりのところ。生徒の感想や傾向を見て、学校で取り組みやすい具体的な内容をパッケージ化してお伝えできるよう検討する。今後、ぜひ協力いただきたい。
- ・若手経営者の集まりにおいても、情報を伝えることができるので、お知らせいただきたい。
- ・テレビ番組で、健康的で簡単で美味しい料理に関する番組を繰り返し放映すると、つい見てしまう人もいるのではないかと。テレビだけではなく SNS でも流すことで、市民の目に触れるようにできるとよい。
- ・メニューを募集して、コンテスト等で見せると、関心が高まると思う。
- ・健康状態を見える化について、具体的にどのようなにするのか。機器をリース等するのか。

→＜事務局＞

- ・「ベジチェック」という機器を、市が包括連携協定を締結している保険会社が持っており、その会社から借用して使わせていただく。市の健康まつえ応援団に登録いただいている事業所や関係団体にも、そういったものを活用いただけるような仕組みを、これから整えようと考えている。
- ・公民館の周囲などで、歩きやすいコース、モデルコースのようなものがマップ等でわかるとよい。
- ・先に行われた健康福祉フェスティバルでは、ベジチェックを受けた後の親子と野菜摂取量の見本を見ながら話をすることができた。
- ・自分の子どもや健康に興味のある人は、幼児教室でも乳幼児健康相談でも出てくるが、出てこない、繋がりのない人を、いかに幼児教室や乳幼児健康相談等に誘うことができるかというのが常に課題と考えている。
- ・SNS や You Tube を活用できれば、あまりテレビを見ない、市報も見ないような人にも情報が届くのではないかと。
- ・仕事終わりの時間帯から参加できるコンテンツがあるとよい。
- ・マラソン大会などの会場で、啓発グッズやチラシを配るのは効果的だと思う。
- ・学校での授業参観の際に、メディアコントロールや体づくりといったことができると、親子で考えるきっかけとなると思う。

- ・委員それぞれ得意な分野、得意な世代があると思うので、それを今後どのように松江市の計画推進に出していけるのか、ということを考えていただきたい。
- ・行政だけではなく、関係する様々な人や団体と、それぞれがつながっていき、計画を広く推進していくことが大切である。

(5) その他

○事務局より以下を説明

- ・第2回委員会は後日あらためて日程調整する（令和7年1月か2月）。
- ・令和7年6月30日で現委員の任期満了
→各団体へ委員推薦依頼させていただく
- ・令和7年度以降は原則年1回（1月か2月）開催とする。

○委員長より情報提供

- ・一般県民向けに作成した「しまね MAME インフォ」について情報提供。
- ・大学の先生方に協力いただき、質の高い内容となっているので、是非視聴していただきたい。

(6) 閉会

令和 年 月 日

松江市健康まつえ21基本計画推進委員会
委員長